

絵本

Picturebook

アライバル



シヨーン・タン 著
河出書房新社

古ぼけたトランクに家族の写真と思い出をつめこんで、男は旅立った。やってきたのは、ふしぎな生物があたりをゆきかう新天地。そこで出会った人々の物語とは……？ ことばを用いず、細密な絵が全てを語ります。

アンジュール - ある犬の物語 -



ガブリエル・バンサン 作
B L 出版

ある日、犬は捨てられて、野良犬になった。そばを走りぬげる車をよけ、行く先々で追われて、もう行き場がない。そのとき、ひとりの男の子に出会った！
鉛筆だけで、すべてを描き出した絵本。

悲しい本



マイケル・ローゼン 作
ケンティン・ブレイク 絵
谷川俊太郎 訳
あかね書房

時を選ばず、人を選ばず、悲しみは不意にやってくる。愛する息子を失い悲しむ一人の男。ただただ悲しみにくれる彼の想いは、希望の岸にたどり着くことができるだろうか…。

最初の質問



長田弘 詩
いせひでこ 絵
講談社

透き通った絵とともに、かんたんな「質問」がいくつも綴られています。でも、その質問にこたえるのはかんたんなことでしょうか？ 立ち止まって、世界と自分に耳を澄ませて、「質問」にこたえてみてください。

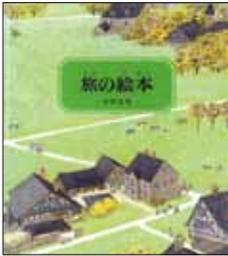
世界でいちばん 貧しい大統領のスピーチ



ムヒカ 述
くさばよしみ 編
中川学 絵
汐文社

「貧乏とは、少ししか持っていないことではなく、無限に欲がありいくらあっても満足しないことだ」——質素な背広姿で登壇したウルグアイの大統領ムヒカの演説は、物にあふれた現代社会の在り方に疑問を投げかけます。

旅の絵本 [1]～



安野光雅 絵
福音館書店

一人の男が馬に乗り旅を始める。旅人は風景に溶け込みながら進んでいく。ページをめくれば人々の暮らしや街の賑わいを見ながら旅をしているような気持ちになれる。あちこちに隠された名画や昔話を探してみるのも楽しい。

漂流物



ディヴィッド・ウィズナー 作
B L 出版

砂浜に打ち上げられた一台のカメラ。フィルムを現像してみると、そこには海の底の秘密が…。リアルに描きこまれた絵の中から、浮かびあがってくる不思議なストーリー。

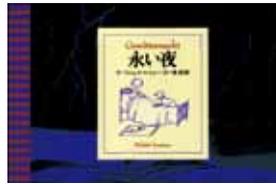
リンドバーク 空飛ぶネズミの大冒険



トーベン・クルルマン 著
金原瑞人 訳
ブロンズ新社

知りたがり屋の小ネズミは、街から仲間の姿がなくなったことに気がついた。人間や猫やふくろうたちに見張られる危険な街を離れて、アメリカに行こう！海を渡るため、小ネズミは飛行機の開発にとりかかる。

永い夜



ミシェル・レミュー 作
森絵都 訳
講談社

夜、ベットに入ってもなかなか眠れずに、いろいろなことをとめどなく考える。生きること、死ぬこと、世界の成り立ち…。ふわふわと漂うような、不思議な夜の思索の旅です。

ポテト・スープ が大好きな猫



テリー・ファリッシュ 作
バリー・ルート 絵 村上春樹 訳
講談社

テキサスの田舎に、おじいさんは猫と暮らしています。猫は、ねずみ一匹つかまえたことがありません。好物は、おじいさんの作るポテトスープ。二人は、お互いそんなそぶりは見せないながら、けっこうまくやっていました。ところがある日…。

ルリユールおじさん



いせひこ 作
講談社

ルリユールは製本屋のこと。大切な植物図鑑を直してもらうため、少女はルリユールおじさんを訪ねます。そして本は新しく生まれ変わりました…。職人と少女の暖かい交流を、パリを舞台に淡い水彩画で描いた絵本。